



あたらしき大地



大阪木材工場団地協同組合

夢^{チキ}と調和の発信基地

1993年8月
No. 54号

「ゴルフ」とわたくし

山谷吉良(ヤマキインテリア(株)社長)



おつき合いいただいている経営者の方々と顔を合わせると、先ずゴルフの話からはじまることが多い。「新設の某コースは、距離もたっぷりあって、池越えも多く、バンカーもむつかしかった」とか「クラブハウスが豪華で、ぜいたく過ぎて、プライフィーが高い」、「あの時のOBがなかったら、スコアはいくらだったの」とか、「ドライバーの調子が良くて、飛ばせたのに、スリーパターを5回もやった」など。フォームの改造、新製品のクラブの話となるとお互いに興奮してくるのがわかるがこんな楽しい交歓の場はない。

また、ゴルフというのは1日6時間も、一緒にさせていただくことになるので、本当の人間性をあらわします。堅実派か、ロマン派(自分の最高のショットを夢に描いてたたきつける)か、またゴルフはギャンブルであって、にぎりなしではできない面々もおられます。そんな中で、私はいつも教え魔と言われていますが、正にその通りで、ついつい口を出してしまい、その人がうまくいくと、喜びを満面に表してくれるのが大きな楽しみです。

コースを回っていると、ゴルフ以外の話題に及ぶことがあるが、その時は私にとっていろいろと学ぶことが多く、いい人生経験をさせてもらってると思っています。

そもそも私は、学生時代から冬はスキー、夏は海へと、スポーツは何でもかじるほうでした。カッコよく見えるが、ゲレンデスキーより数倍も疲れる水上スキーを琵琶

湖で数年やりました。モーターボートの湖への揚げ降ろしも自分達でやるのでいつもくたびれて、「どうしてこんなにしんどいことをせにゃならんのか」と何度も思ったことでした。なかでも海の素もぐり（スキューバダイビングなんて、言葉も道具も日本にはなかった頃の話）を20年も続けてやり、夏になると毎週日本海へ車を飛ばしていました。

素もぐりでサザエ、アワビ、タコ、ガシラ、アブラメ、ベラ等を取ることに身体を張って海女（あま）まがいのようなことを昭和55年までやりました。獲物が減り且つ体力の限界を覚える中でゴルフコースへぼちぼち行きはじめていたこともあって、海もぐりはこの年でやめ、ゴルフに転向しました。初めて100を切ったのが、まだ月イチゴルファーだった昭和54年ごろで、ドライバーがまだ打てなかった昭和56年10月に、家具連合会のコンペで、40・44を出し優勝してしまいました。それまで95から110のゴルフをしていた時ですから、驚異的と言えるスコアでした。これを機にゴルフに傾注していくことになり、メンバーコースに入会し、休日一人でコースへ行くようになり、にぎりなしのゴルフを覚え、マナーにも気を配るようになりました。初めてもらったハンディが19でした。

その頃シングルの教え魔の先輩に、コースへ出て実地に教え込まれたのが、精神面と頭を使ってのコース攻略をすることでした。

平成3年夏、そんなに努力もしていなかったのにハンディが10に上がり、「もうこれで充分満足だ」と思ったら、調子に波が出てきました。ゴルフで最も大切な集中力の問題です。「今のうちにシングルに」なれるよう練習場へ通うべきか、不況の年に悩んでおります。

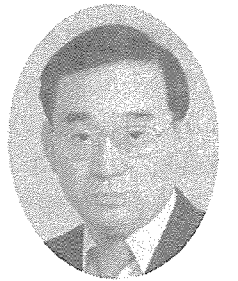
最近息子達が打ちっ放しへといくようになり、私も教え魔ぶりを大いに発揮していますが、この時ばかりは、親の意見をよく聞いております。近い将来4人でコースを回れる日を楽しみにして……。

目次

うちの会社のトピックス	3	郵便局だより	13
ウッドリーム大阪だより	3	樹木あれこれ	14
「女性スタッフセンスアップ講座」を終えて	6	環境整備すぐやる課だより	15
アラカルト	7	新刊書紹介	15
情報教育委員会だより	9	団地内の動き	16
「ちょっと一言」	11	事務局だより	16
木栄会だより	12	クロスワードパズル No.30	18
女性スタッフ紹介	13		

うちの会社のトピックス

三信木材(株)社長 榊 井 敬



記録的に長かった梅雨も明け、この号が発刊されるころには、盛夏到来の真夏の太陽を仰ぎ見る季節かと想われます。日頃、団地組合、組合員の皆様方には何かとお世話になり、弊社も今年で35年を迎えることとなりました。紙上を拝借して御礼申し上げます。昭和33年に大正区千島町にて発足いたしました折は、産業部材として木材が巾広く使われ、電車、船舶用木材の納材業者として営業していた弊社も、平林地区を経て、この木材団地に工場を設置するに伴い、ここに居を構えて早や23年になります。初代理事長はじめ現理事長に至る多くの先達の諸氏の奮闘のおかげをもって、現在、全国屈指の協同組合となり、その一員として、団地内で営業させて頂いております。時代の流れと共に、一次加工から二次、三次加工へと主役はバトンタッチされてまいりましたが、単に経済的コストの追求のみならず、木質資源の本来人間に与える働きは何なのかと常に問い直す想いでおります。

国際的森林保護、環境保全の意識の高まりと、有機物である人間と無機物主体の生活環境とのミスマッチからくる需用者側の本物の木質指向への要求の差、この両者をマッチさせるためにも、先達諸氏から受け継がれた永年の経験と新しい技術との融合を計ってゆく事が我々次代を担う木材業者の使命ではないかと想います。

企業にとって収益をあげる事は、人の血液のように必要不可欠であります。いたずらに収益至上主義に捕われて高血圧になったり、逆に、貧血になるのも困ったものです。

私達は、木材業のメーカーとして、製材部門、加工部門など、数少なくなった形態ではありますが、木質材料の有効利用の一端を担わせてもらえばと営業しております。また、本来のアピトン材、トラック架装用材の専門店としても、（現在、近畿圏でも小数となりましたが）根強くお客様にご利用頂いております。

企業として、貧血にも高血圧にもならず、木材本来の素晴らしさを広く一般に普及する喜びを全社員が享受出来るような営業を目指しておりますので、今後共、組合員各位のご支援お引立てを賜りたく、お願い申し上げます。

ウッドリーム大阪 だより

◎全国木材利用普及施設連絡協議会（通称；木普協）通常総会開催

6月16日（水）、東京の麻布グリーン会館で木普協の平成5年度通常総会が開催された。

総会には全国各地の会員 22 施設のうち 11 施設延べ 16 名が参加、所定の議案を審議し、いずれも原案どおり可決承認された。

なお、事業計画のうち施設見学会については、今年度は長野県の松本木工館、信州博覧会・グローバルドームなどを見学することとなった。

引き続き情報交換会が行なわれ、各施設より運営上の問題点や最近の動向について意見が交換され、多くの施設が運営資金等でかなり苦勞している実態が示された。

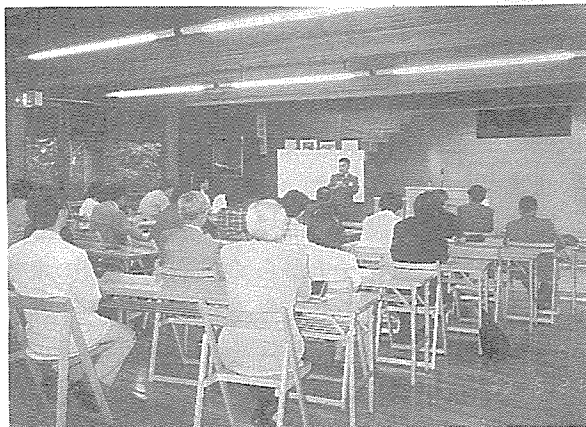
総会終了後、林野庁並びに関係団体から来賓の方々を招き懇親パーティがなごやかに開催された。

◎健康セミナー開催

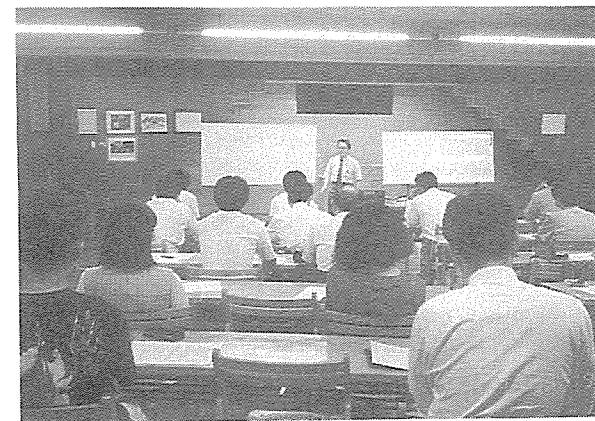
6月21日(月)午後5時30分より医学博士の松田育三氏を講師に招き『自分でつくる心と体の健康』～常識やぶりの医学知識～と題して健康セミナーが開催され、31名が聴講した。

セミナーは、健康を精神衛生面から見つけてこられた松田先生が「ほんとうの健康とは何か」を時間を忘れさせるほど楽しくユニークな語り口で説き明かされた。

「病気を直したら健康になる」というのは嘘なので、「健康な人間は病気になるまい。」そのへんの常識をまず捨てること。…といきなり過激な発言をされ、もっと人間を健康にさせるにはどうしたらよいか。これが本当の医学だと話された。



◎実務セミナー開催



7月19日(月)午後5時30分より水口弘之編集事務所の水口弘之氏を講師に招き『新鮮な文章を書くための方法』と題して実務セミナーが開催され、34名が聴講した。

セミナーは、フリーライターの水口先生が、「文章は書くものではなく削るもの」「主語と述語は接近するほど良い」「起承転結を遊ばせる」「漢字とひらがなをミックスさせることによ

て視覚に訴える」など新鮮な文章の書き方のポイントを説明された。

◎今年度の事業計画について

既に実施済みの事業も含めて、『ウッドリーム大阪』の今年度の事業計画は次のとおりです。

なお、詳細については随時ご案内いたします。

記

月	開催日時	事業	内容及びテーマ
平成5年 6月	6月21日(月) 午後5時30分～	健康セミナー	「自分でつくる心と体の健康」 ～常識やぶりの医学知識～ 医学博士 松田育三氏
7月	7月19日(月) 午後5時30分～	実務セミナー	「新鮮な文章を書くための方法」 水口弘之編集事務所 フリーライター 水口弘之氏
8月	8月10日(火) 午後1時30分～	夏休み親子木工教室	「親子でマガジンラックをつくろう」 DIYアドバイザー 出口守氏 木彫工芸家 山本恵子さん
9月	9月25日(土) 午後1時～ (予定)	木材知識講習会	木材産業関係者対象の知識講習会 (講師・農学博士 山井良三郎氏)
10月	10月2日(土) 3日(日)	木のふれあいツアー	伊勢神宮式年遷宮諸祭拝観と伊勢戦国時代村見学
11月	未定	たそがれコンサート	音の語り(主宰;渡辺正直氏)と共催
	中旬	パソコンセミナー	中川木材店 講師 社長 中川勝弘氏
12月	中旬	しめ縄講習会	講師 わら細工師 上野弘氏
平成5年 1月	上旬	新春講演会	協同組合と共催
2月	2月5日(土) 6日(日) 19日(土) 20日(日)	ビルダーズセミナー	協日本住宅・木材技術センター主催の木造建築担い手育成研修

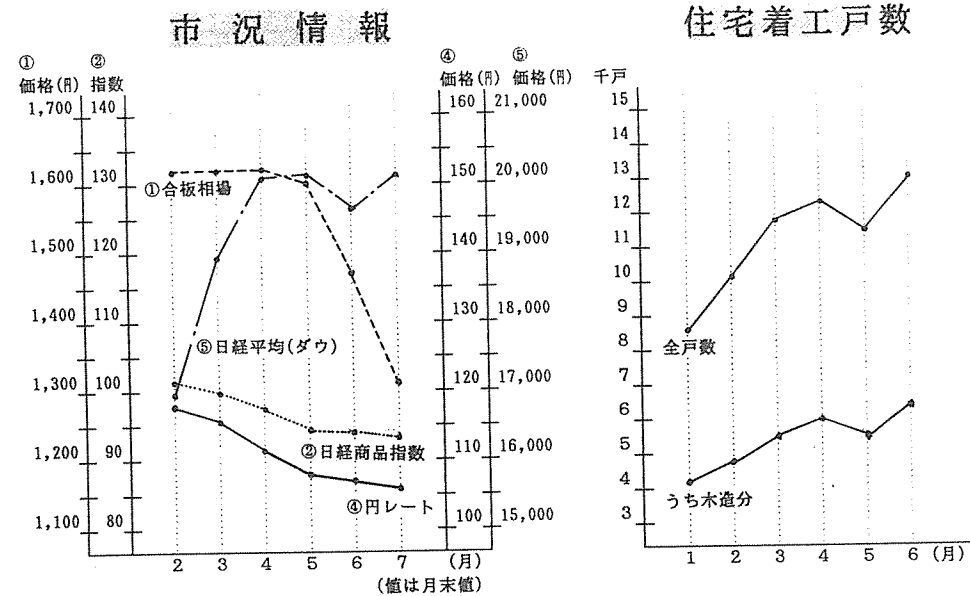
(注) 10月度事業の「木のふれあいツアー」は『ウッドリーム友の会』会員の限定行事となっております。なお、『ウッドリーム友の会』に関しては、本誌3月号No52の「ウッドリーム大阪だより」をご覧ください。

◎施設利用のご案内

当『ウッドリーム大阪』では一人でも多くの人に木の持つ暖かみ、良さを感じてもらうために、研修室（約40坪）を木材に関する各種研修会や各種会合のほか、多目的ホールとして広く一般にも開放しております。

各社取扱商品の説明会、展示会、社内研修会、音楽会やダンスパーティー etc...
せいぜいご利用下さい。

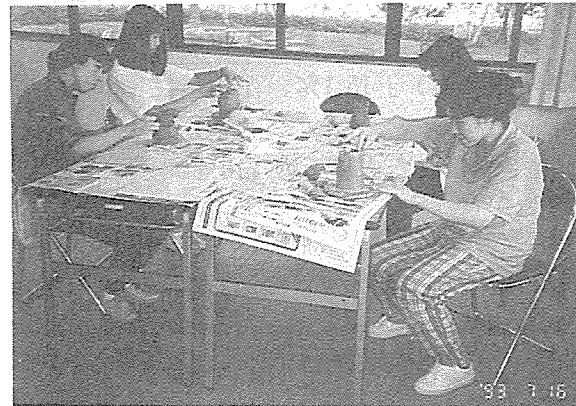
なお、施設使用の申込方法等詳細については『ウッドリーム大阪』（担当；牧山・山本）までお問い合わせください。（TEL 0723-61-2030）



で、陶芸教室をされている林講師の指導のもと全員が初めての陶芸に、チャレンジしました。手を泥だらけにして童心にかえり、無我夢中で花瓶作りに挑戦、傑作品？も多く、出来上がりが楽しみです。又夕食を終えて7時から9時まで全員のアンコールによって、再度ビューティーコンサルタントの佐藤兆洋先生をお迎えして「一人一人の個性美について」の講義がありました。

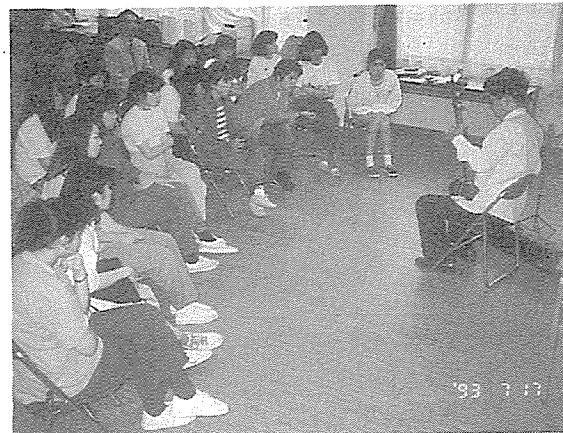


翌17日は田中先生の最終講座「魅力ある女性のセクシー」「社外の人との対応の仕方」やその他いろいろな講義があり、午後からは加藤講師によって世界の珍しい楽器を演奏されるなど、私達にとっては、全てが、初めて見たり聴いたり手に触れたり楽しい1時間でした。この講座に参加して、人と人との出会い、協力、信頼関係がいかに



大切かを田中先生他多勢の講師の方々から学びそして色々な事を体験して魅力ある女性に少しでもセンスアップ出来た事を確信し、この講座に気持ちよく参加させて下さった会社の皆様に感謝しています。又次の機会を楽しみに頑張っていきたいと思います。

〈「女性スタッフセンスアップ講座」を終えて〉



(株)高島屋工作所 水本 佐世子

7月16日、17日の両日「女性スタッフセンスアップ講座」の最終講座が、茨木市の忍頂寺スポーツ公園の竜王山荘で開かれました。1回目から4回目迄誰一人としての欠席者もなく、講師の田中先生と女性20名賑やかに楽しく過ごす事ができました。特に今回は一泊二日の講習ということで、期待と不安もありましたが、午後から茨木市

アラカルト ●●●●●

◆ 完全な熟睡をもたらす四つの方法 (医学書)

人間は長い期間食べなくても生きていられるが、睡眠を取らないと短期間で死んでしまう。ところで大脳生理学者によると、睡眠できないのは自分で眠れないと思い込みが多く脳波を調べて診ると正常な人と何ら変わらない、自己暗示にかけているから眠れないのである。

熟睡するための方法は次の事を守ると良い

- ① 体のリズムに合った規則正しい生活をする
- ② 眠れなくても焦らない
- ③ 昼寝をするな
- ④ 快適な寝床環境をつくる

◆ 磯野家はどんな本を読んでいたか (東京サザエさん学会)

サザエはベストセラー本、マスオは実用本、立ち読み上手で読書量は豊富である。
カツオは川端康成の「雪国」を読もうとしてマスオに早すぎると取り上げられている。
(56巻44頁)

マスオの愛読書は「宮本武蔵」でその外、現実的な出世方法とか、ストレス解消法の本を読んでいる。(56巻31頁) (60巻30頁)

日本では昔もそうであったように、今でもサザエさんにしたしむ子供が多いが学問的に分析をされるとますます漫画が面白くなり子供の読んでいるサザエさんを取り上げるこの頃である。

◆ 木造住宅(在来工法)をなぜ選ぶ?

総理府が今年1月に行った「森林とみどりに関する世論調査」の結果を発表し、その中で今後新たに住宅を建てたり、買ったりするときどのような住宅を選びたいと思うかを聞いたところ、「木造住宅(在来工法)」と答えた人の割合が72.4%と最も多く、次いで「非木造住宅(鉄筋、コンクリート造)」15.1%、「木造住宅(プレハブ工法等)」9.2%となっている。

その中でとくに多い「在来工法の木造住宅」と答えた人にその理由を聞いたところ、次のような内容が明らかになった。

木造住宅(在来工法)を選ぶ理由

木造住宅(在来工法)を選びたいと答えた人に、複数回答

	該 当 者 数	通 気 ・ 保 温 性 な ど 居 住 性 に す ぐ れ て い る か ら*	昔 か ら 住 み 慣 れ て い る か ら	木 が 好 き だ か ら	木 目 や 木 の 色 な ど、 見 た 目 が よ い か ら	増 改 築 や 補 修 が 容 易 だ か ら	好 み に 合 わ せ て 建 て る こ と が で き る か ら	耐 久 性 が あ る か ら	値 段 が 手 頃 だ か ら	そ の 他	特 に 理 由 は な い	計 (M T)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 数	1,569	65.3	55.2	46.8	22.4	22.0	21.9	16.1	5.4	0.7	0.8	256.6
[性]												
男	700	67.6	53.6	44.0	22.3	24.9	25.7	16.4	6.3	0.4	1.1	262.7
女	869	63.4	56.5	49.1	22.4	19.7	18.9	15.4	4.7	0.9	0.6	251.7
[年 齢]												
20 ~ 29 歳	115	62.6	42.6	40.0	30.4	8.7	18.3	18.3	1.7	1.7	3.5	227.8
30 ~ 39 歳	264	70.1	47.7	43.9	26.1	15.2	17.8	20.5	3.8	0.8	0.4	246.2
40 ~ 49 歳	391	69.6	46.3	48.3	23.0	20.5	21.2	15.6	3.8	0.5	0.5	249.4
50 ~ 59 歳	398	68.3	57.3	52.5	19.3	26.6	25.6	16.1	7.8	0.3	0.8	274.6
60 歳 以上	401	55.6	70.3	43.6	20.0	27.2	22.7	13.0	6.7	1.0	0.7	260.8

*我が国の気候・風土に適し、通気、保温性など居住性にすぐれているから (林野時報5年6月号より)

情報教育委員会だより

◎平成4年5月実施労働時間アンケート調査結果

この調査結果は、平成4年5月に羽曳野労働基準協会会員事業所800社を対象に実施されたアンケートの調査結果です。(括弧内は前年度数値)

1. 調査対象事業所等(回答事業所の従業員規模別内訳)

規 模	回 答 率 (%)
1 ~ 9人	9.9 (7.8)
10 ~ 30人	29.4 (25.8)
31 ~ 100人	36.5 (43.2)
101 ~ 300人	19.8 (18.5)
301人以上	4.4 (4.8)

2. 週所定労働時間

週46時間未達成事業所(9.5%)で、従業員10人未満の商業・サービス業を除いては労働基準法違反となるものである。

週 所 定 労 働 時 間	回 答 率 (%)
週40時間以下	37.2 (31.0)
週40時間超え週44時間以下	38.7 (38.0)
週44時間超え週46時間以下	14.6 (17.3)
週46時間以上	9.5 (13.7)

3. 1日所定労働時間

7時間30分超え8時間以下を所定労働時間と定める事業所が最多である。

1 日 の 所 定 労 働 時 間	回 答 率 (%)
7時間以下	5.6 (5.5)
7時間超え7時間30分以下	20.1 (24.7)
7時間30分超え8時間以下	71.8 (67.9)
8時間以上	2.5 (1.8)

4. 週休制の形態別採用状況

週休制の採用状況は、週休1日制が12.1%（17.3%）と減少しており、何らかの週休2日制を採用している事業所は87.9%（82.7%）に達している。

その他の週休2日制で、完全週休2日制にほぼ対応する年間所定休日110日以上を、年間休日カレンダー等によって指定している事業所を完全週休2日制に含めると全体の28.8%に達する。

週休制の形態	回答率(%)
週休1日制	12.1 (17.3)
完全週休2日制	20.4 (20.7)
月3回週休2日制	5.0 (8.9)
月2回週休2日制	19.8 (27.7)
月1回週休2日制	10.5 (14.4)
隔週週休2日制	5.9 (9.2)
4週1回週休2日制	2.2 (1.5)
4週3回週休2日制	1.2 (0.4)
その他の週休2日制	22.9(記載なし)

5. 年間所定休日数

年間所定休日69日以下の事業所は2.2%（2.2%）と昨年比横這いであるが、年間110日以上の上業所が31.0%（23.4%）と増加して、事業所の平均年間休日数は100日程度に達しているとみられる。労働時間の短縮が明らかに休日数の増加という形で進んでいることと受けとれる。

年間所定休日数	回答率(%)
69日以下	2.2 (2.2)
70~79日	11.1 (14.5)
80~89日	12.7 (16.4)
90~99日	23.2 (27.9)
100~109日	19.8 (15.6)
110日以上	31.0 (23.4)

6. 年次有給休暇消化率（年次有給休暇与日数に対する消化率）

昨年と比べても格別特異の変化はみられず、むしろ年間休日増による消化の鈍化傾向とも受けとれる。

消化率	回答率(%)
10%未満	2.2 (1.6)
10%~29%台	14.2 (12.0)
30%~49%台	25.4 (27.3)
50%~69%台	24.8 (24.5)
70%~89%台	14.9 (25.3)
90%以上	4.6 (9.2)

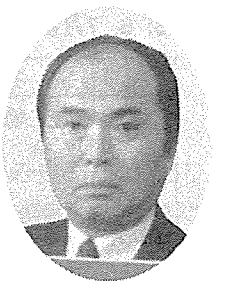
以上

「ちょっと一言」

私たちのエコロジー活動

『高島屋工作所の森』づくり

(株)高島屋工作所 丹羽 豊



当社では、平成4年の新年幕開けに『行動宣言』を発表し、社会の一員としての役割と責任を果たそうとフィランソロピー（社会貢献）に取り組む第一歩を踏み出しました。その宣言の一つに「私たちは地球環境の保護へ不断の注意をはらいます」という提言があります。個人として企業としてできることからそれぞれの立場でエコロジー活動をはじめようと、古紙、牛乳パックや不用品の再利用から産廃、節電、省資源ほか諸々の対策をたて実施する一方、新事業開発プロジェクト『NBF（ニュービジネスフロンティア）』が平成3年より結成され活動する中で『高島屋工作所の森』づくりが提唱され、キャンペーンを開始し、全社あげて森林づくりに参加することによって森林の保護育成に取り組む企業マインドを培っていくことになりました。

現地での植樹、下草刈りの手伝いや、ベンチ、巣箱の設営など森を守り育てる緑の十字軍『グリーンクルセイダース』を編成する傍ら、苗木購入資金調達的手段として12月から5カ月間、社員はもとより関係会社のみなさんの協力で「苗木募金」運動を

はじめるなど次々と準備作業が実施され、又こういった数々の全社の活動状況が、刻々、社内情報誌で紹介され次第に盛りあがりました。そして平成5年4月24日「植樹のつどい」の日で締切られた募金(64万円)を基に、6300本のヒノキ、カエデ、サクラ他数種の苗木が、浜名湖を見下ろす国有林(2ヘクタール)に、地元の人達共々(100名)が参加して植樹されました。

未来への夢を託して、こうして森づくりがスタートしましたが、会社と社員が一体となったパワーの結集がある限り、今後60年間にわたり色々な困難を乗り越え見事に結実するものと全員が力強く誓い合っています。

「地球にやさしい」…が云われはじめ、多くの環境問題への取り組みが展開されていますが、社会を構成する一員として、もう一度エコロジーの原点である「モノを大切に作る」意識を掘り起こし、私たちのオフィス・工場・日常生活を見直し、企業市民として小さなコトから実践していこうではありませんか。



木栄会だより

◎5.6.7月度実施事業

事業名	実施日	参加人数	概要
団地内工場見学会	H 5. 5.24	18名	団地内の情報収集のため、東洋紙業㈱、ミウラ化学装置㈱の2社を見学。
労働災害防止安全講習会	H 5. 6.14	63名	羽曳野労働基準監督署より上中義満地方産業安全専門官を講師に招き、講習会を実施。
安全運転講習会	H 5. 6.24	75名	黒山警察署(交通課)より講師を招き、講習会を実施。
ボーリング大会(第5回)	H 5. 7.16	48名	チヨダスタジアムで、ボーリングコンペを実施

女性スタッフ紹介 ●●●●●

大阪木材工場団地(協) 木材団地簡易郵便局 小林昌代さん

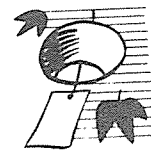
- 家 河内長野市
- 星座 さそり座
- 血液型 A型

入社してあつという間に半年が過ぎました。はじめは仕事を覚えるのに必死で、どうなることかと不安でしたが、やっと仕事にも慣れてきて毎日楽しく過ごしています。



ちょっと慣れすぎて態度が大きくなってきたかもしれませんが…?

これからも優しくして愉快的先輩方とともにがんばっていきたくと思っています。最後ですが郵便貯金のことなら木材団地簡易郵便局へどうぞ!美人の職員(??)があなたのお越しをおまちしています。



郵便局だより

● 定額貯金も金利自由化に!!

今年の6月21日から郵便局の定額貯金の金利が自由化されました。この自由化により定額貯金の金利は原則として毎月第1、3日曜日の2回変わり市場金利の動向が敏感に金利に反映されるようになります。それに自由化に伴ない定期貯金の種類も変わり、MMCがなくなってニュー定期に統合され預入期間1カ月物が新設されました。なお、定額貯金の商品性(6ヶ月経過後は自由満期、半年複利で預入時の利率を最長10年適用)については従来と同じで預入時の金利が預入期間を通じて適用されます。

皆様のご利用をお待ちしています。



楓（かえで）



比島産ラワン原木輸入のいまだ全盛だった30年ほど前、ルソン島東岸のサン・イグナシオより来る原木には、比較的 WHITE LAUNANが多かった。そのSAN IGNACIOの遙か南方に、サン・ベルナルジノ海峡という狭い海峡がある。昭和19年6月15日夕、2日前タウイタウイを出撃していたわが第1機動艦隊は、この海峡を抜け、わが協同組合創立記念日の6月19日、マリアナ沖において米国海軍と激突したのである。

西暦1800年5月6日、かねてイタリア遠征を企図していたナポレオン・ボナパルトは、そのグラン・ダルメ、つまりフランス陸軍の将兵3万を率いて、春まだ浅きマッターホルンの西方、ペンニン・アルプスの峠越えを敢行、それが海拔2500mのグラン・サン・ベルナル峠であった。2000年の昔、カルタゴの英雄ハンニバルも越えた峠である。また、この峠の修道院の飼犬で、吹雪に道を失なう旅人を助ける犬として名高いのがSAINT BERNARD犬、英語読みでセント・バーナード犬である。

この峠を南東方へ下り、イタリア最大の大川ポー川沿いに東へ300kmほど進むとロンバルディア平原中のクレモナに出る。このCREMONAは17、8世紀のヴァイオリン製作の名匠ストラディヴァリ家の居住地であった。名器ストラディバリウスというのは、このSTRADIVARI家代々の名人、例えば、初代のANTONIO STRADIVARIの製作し、かつラテン語風に「STRADIVARIUS」と署名したもののことである。

ヴァイオリンの表板の最適材がトウヒ類であり、裏板はカエデだが、絶妙な音色の出る決定的な秘密は、そうした最高の材以上に重要なものとして、胴板に偶然に繁殖した細菌からでる物質のキチンにあることと、それがカニの甲羅にもあることが最近判明した。



環境整備すぐやる課 だより

◎環境整備事業総会を開催

平成5年度環境整備事業総会は、6月18日、午後5時30分より「ウッドリーム大阪」研修室で開催され、平成4年度事業報告及び収支報告、平成5年度事業計画案及び収支予算案などを審議、いずれも原案通り可決承認された。

環境整備事業も事業を開始してはや8年目を迎えるが、本年度は特に

- ①美原町に対する当事業への幅広い協力要請。
- ②美原町・黒山警察署とタイアップした定期的な不法放置車輛等の一斉点検及びその処理。
- ③「木栄会」とタイアップした安全運転講習会・火災予防講習会の開催。
- ④車輛不法駐車問題に関する対策案等の検討。
- ⑤野犬の捕獲。

などの重点項目を掲げ、木材団地の美化と「環境整備事業」のイメージアップが計画されている。

◎「ゴミ0の日」実施

5月31日、本年度1回目の「ゴミ0の日」が実施された。当日は団地内の各ブロックに設置されたゴミ集荷場所に各社より次々とゴミが出され午後からは美原町から委託された専門業者により、すべてのゴミが回収処理された。この「ゴミ0の日」は、昨年度秋より美原町とのタイアップ事業として行われており、ゴミ処理費用は美原町の負担により実施されている。

本年度2回目の「ゴミ0の日」は、9月30日を予定している。

新刊書紹介

◆「日本の命運」 (会田雄次・PHP研究所)

先生は歩兵128連隊ビルマ戦線生き残りの体験から世界を見ていく西洋史の大家である。本書は独立した8章からなるが、「統一ドイツの脅威」を引いてみる。

ドイツというゲルマン人の土地は寒くて暗くて食糧も乏しいために、ライン川流域の一部を除きローマ帝国の領土になることはなく、従ってその文明文化の恩恵を受けることなく野蛮な土地のまま過ごしてきた。自他ともに田舎者ということを受け、そのためにイタリアやフランスのように洗練された教養というものがついに育たず、これを補うために観念、つまり理屈で行くようになったが、理屈はいくら発達しても、持って生まれて身についた教養ではないのである。ここにドイツの伝統的なコンプレックスの原因があり、それが2つの大戦となって現れたのだ。

今、ドイツは統一され、その混乱停滞の中にあるが、やがて再び強大な国となってEC内に君臨することだろう。米英仏露すべて弱体化している中で基本的にコンプレクスを持ち何をするか分からないドイツの膨脹は脅威だとされる。

◆「天皇の原理」 (小室直樹・文芸春秋)

世界に民族人種は数多いが、その中で望みの土地を神より与えられたのはわが日本民族とユダヤ民族との2つだけ、というところから先生は説きおこされる。ところが、土地を与えられるにつき、わが民族は無条件であって、そのために永遠に同じ土地にいるのに対し、ユダヤ民族の方は神の意向に逆らわないという条件付きだったのに、それに逆らったため、1948年のイスラエル建国のときまで、ユダヤ民族は世界に散っていたのである。

以後45年、いまだにユダヤ民族がイスラエルの土地にいるところを見ると、今は神の意向に添うよう行動しているのだろう。その一つに、エルサレムに神殿を建てることがあるが、建ててもそこに安置する「契約の箱」なるものはない。ないのは、宇野正美さんよれば、予言者イザヤが日本の地へ運びこんだからだという。

ユダヤ教とキリスト教とのちがいは、ユダヤ教が、例えば不道德なことばかりしている人間でも、神がこの人を救うと予定しているならば救われるのに対して、キリスト教ではイエス・キリストを信じる人はすべて救われる、というところにあるという。

団地内の動き

◎フォークリフト運転技能講習会開催

7月9日(金)・10日(土)、ウッドルーム大阪・研修室及び旧木材乾燥工場西側遊休地で最大荷重1トン以上のフォークリフトの走行及び荷役業務に従事される方を対象に標記技能講習会(主催:大阪トヨタフォークリフト㈱)が行なわれ、約160名が受講した。

事務局だより

◎新役員の紹介

さきの通常総会で新たに組合理事に就任された方々を紹介します。

(敬称略)

氏名	浅野 敏行	丹羽 豊
会社名	㈱アサノ	㈱高島屋工作所
趣味	ゴルフ、クラシック音楽鑑賞	野球、ヨット、テニス、山登り、園芸
好きな言葉	誠実	断じて行わば鬼神もこれを避く
家族構成	妻、娘1人、息子1人	妻、娘3人

氏名	藤本 治平	水口 真純
会社名	㈱アルボレックス	永大産業㈱
趣味	草野球、ゴルフ、園芸(花づくり)	スキー等スポーツ(ゴルフを除く)
好きな言葉	人事を尽くして天命を待つ	質実剛健
家族構成	妻、娘1人(OL)、息子1人(学生)	妻、息子3人(全員大学生)

◎受彰者の紹介

当組合の橋本健介副理事長(㈱葵建装社長)はこのたび工団連(全国工場団地協同組合連合会)より組合功労者として会長表彰を受けられた。

◎公職の就任

当組合の成瀬理事長はこのたび工団連近畿ブロック協議会の会長と同時に工団連本部の副会長に就任された。

